

2020年5月17日

「防災塾・だるま」会員のみなさん

「防災塾・だるま」塾長 荻本孝久
「防災塾・だるま」役員一同

皆さん、お変わりなくお過ごしのことと思います。

「防災塾・だるま」の活動もほぼ15年が経過して、いろいろな地域、場所で様々な活動を行っております。この活動は「防災塾・だるま」のホームページにも掲載されているところです。25年前の阪神・淡路大震災以降2011年の東日本大震災、2014年の熊本地震など大きな震災を経て地域の防災活動も進展してきました。最近では、地球温暖化による大規模な台風・豪雨災害などが多発しており、引き続き本年も警戒が必要です。また、本年1月頃より新型コロナウイルス感染拡大で影響が全世界に及ぶような大災害となり、いまだ終息の見通しが見られません。

「防災塾・だるま」の活動もこの影響を受けて本年2月から「定例会」や「防災まちづくり談義の会」が例年どおりの開催ができず休止しております。役員の方々とは終始対応策を検討しており、幾つかの新しい方法を模索中です。

一方で2020年度の「総会」開催の時期を迎えており、検討した結果、電子メールによるメール会議で「総会」を開催することとしております。詳しいことは後程ご案内致します。

また、新型コロナウイルス感染拡大が縮小し緊急事態宣言が解消した後も、報道されておりますように暫くの間は「新しい生活様式」として、今までとは異なる社会生活が出現し、「防災塾・だるま」の対応も変わらざるを得ない状況が出てくることも考えられます。

そこで、「防災塾・だるま」では役員の方や有志の方々のご協力により、新しい取組としてインターネットを利用した遠隔会議などを導入して活動が停滞しないよう検討を進めております。それらの結果は「防災塾・だるま」のホームページやメール配信（郵送配信も含む）を利用して情報の共有化とネットワークの構築を維持していくよう検討を進めてまいります。

今後ともご支援、ご協力のほど宜しくお願い致しますとともに皆様のご健康をお祈り申し上げます。

以上